

MAEDAの共有価値創造プロセス

MAEDAは、企業収益の拡大と持続的成長の実現をめざします。
CSV経営の推進にあたり、「社会価値」「経済価値」「環境価値」(トリプルボトムライン)を広く社会に開示するとともに経営の意思決定に有効な指標として位置づけ、企業収益の拡大と持続的成長の両立を実現し、企業価値を高める「共有価値の創造」を実現していきます。

主な経営資源

インプット

人的資本

従業員数
3,220名
2021年3月31日現在

財務資本

長期発行体格付
A/ポジティブ
2021年7月9日時点

製造資本

設備投資・研究開発
118億円
2020年度実績

社会・関係資本

公共施設等運営権[※]
1,144億円
2021年3月31日現在

社会・地域とのコミュニケーション

社会地域貢献活動
310件
2020年度

サプライヤー

主要取引社数
延べ**46,861社**
2020年度支払件数

※公共施設等運営権は、連結B/Sに計上されています

マテリアリティ

少子高齢化

国・地方自治体の財政難

経済の低成長・減退

担い手不足・人口減少

社会インフラの老朽化

データ主義社会の到来

事業戦略・重要テーマ

中長期経営計画 NEXT10

I.生産性改革

- 組織改革(経営革新本部の設立等)
- エンジニアリング力の強化(新原価管理手法の実装に向けた取り組み)、DX推進

II.脱請負事業の全社的推進

- 再生可能エネルギー事業・コンセッション事業・包括管理業務委託
- グループ全体での脱請負事業への取り組み
- 地域戦略の推進と全社的取り組み強化

III.体質改善

- 100周年社内コンペ(受賞案のうち、TOP3の事業化)
- 新人事制度、新教育・育成制度
- 働き方改革(フレックスタイム制・テレワーク・サテライトオフィス・フリーアドレス・ビジネスカジュアル)

2020年度 CSV経営のハイライト

特集へ
P.7~P.8
P.13~P.22

成長戦略

1st Stage '19-'21 中期経営計画

2nd Stage '22-'24 中期経営計画

3rd Stage '25-'27 中期経営計画

NEXT10 めざす姿

- 総合インフラサービス企業
- 体質改善

中長期経営計画『Change!』

着実に実行

インフロニア・ホールディングス 中長期経営計画

2021年10月1日に詳細提示

創出した価値

社会価値 792億円

付加価値の算出方法

収入合計	
外部調達支出合計	付加価値

ステークホルダー	金額	摘要
従業員	319	給与・賞与、福利厚生等の総額
経営者	6	役員報酬の総額
内部留保	288	剰余金の増加額
地球	1	地球への配当
投資家	74	株主配当金

社会に創出した付加価値と価値分配

収入合計	3,841	売上高 3,661 + 営業外収益 180
外部支出	3,049	売上原価 3,124 + (販売費および一般管理費 239 - 人件費・役員報酬 326) + 寄付金 1 + (営業外費用 25 - 支払利息・社債利息 12)
付加価値	792	収入合計 3,841 - 外部支出 3,049

ステークホルダー	金額	摘要
公的機関	109	租税公課
債権者	12	支払利息・社債利息
地域社会	1	寄付等(地球への配当を除く)
MAEDA SII	1	MAEDA SII投資分の総額
その他	-19	特別損益の差額等

経済価値 362億円

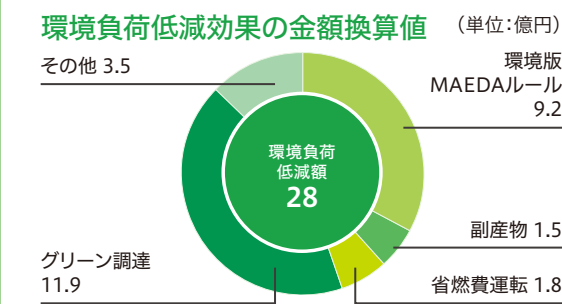
前田建設個別の当期純利益

個別財務諸表 P/L(要約損益計算書)		(単位:億円)
売上高	3,661	
売上総利益	537	
販売費および一般管理費	239	
営業利益	297	
経常利益	452	
税引前当期純利益	480	
当期純利益	362	

経済活動を通して創出した価値

B/S(要約貸借対照表)		(単位:億円)		売上高のセグメント別内訳										(単位:億円)			
流動資産	2,853	流動負債	1,946	売上高	3,661												
現金預金	343	短期借入金	143														
完成工事未収入金	1,925	未成工事受入金	309														
未成工事支出金	114	その他	1,494														
その他	471																
固定資産	2,701	固定負債	1,275	地域別	北海道	東北	関東	北陸	中部	関西	中国	九州	海外				
有形固定資産	468	社債	450	59	710		1,390	132	397	428	115	410	61				
無形固定資産	75	長期借入金	627														
投資その他の資産	2,158	その他	198	事業別													
		純資産	2,333														
資産合計	5,554	負債純資産合計	5,554														

環境価値 28億円



建設現場の環境活動によって創出した価値

環境版MAEDAルール

施工活動における、省CO₂活動および省資源活動(ハイブリッド重機の採用・破砕機など)による副産物の減容化・発生土の再利用など)により削減されたコストとCO₂の金額換算値の合計値。

副産物

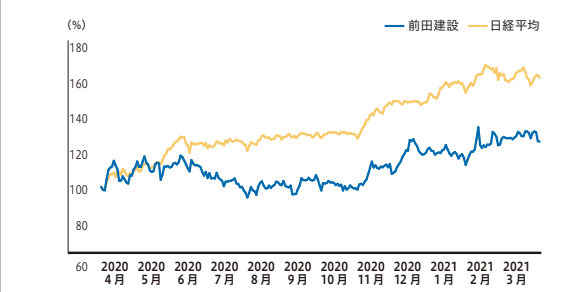
産業廃棄物の分別による価値。リサイクル法で定められた品目と汚泥、廃石膏ボード以外の品目を混廃として処理した場合と比較した処理費の差額。

グリーン調達

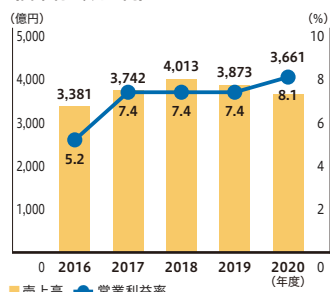
材料、内・外装、設備系など施工段階の指定30品目のグリーン調達(環境負荷の少ない調達)による資材の削減値とCO₂削減金額換算値の合計値。

主要指標経年変化

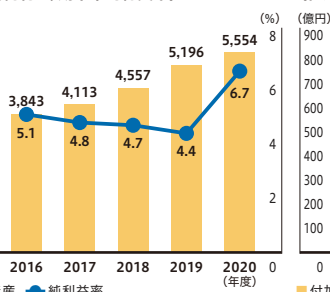
2020年度の株価パフォーマンス



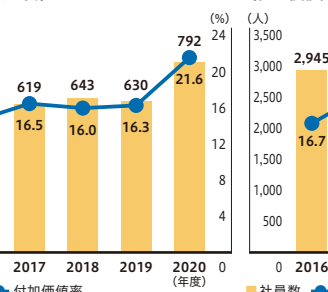
売上高営業利益率(営業利益/売上高)



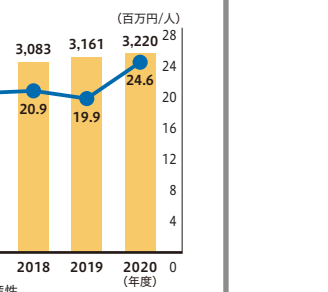
総資産純利益率(当期純利益/期中平均総資産)



売上高付加価値率(付加価値/売上高)



労働生産性(付加価値/社員数)



※本ページでの「付加価値」は特集ページで紹介する当社独自の付加価値と定義が異なります
※前田建設単体の2020年度の活動に関する値
※合計金額は小数点以下を四捨五入しています

当社のめざす姿

NEXT10

CSV経営

外的要因に左右されない安定収益基盤を確立

請負と脱請負の融合による「総合インフラサービス企業」への転換

総合インフラサービス企業になるための内なる改革

意識改革・しくみ改革・生産性改革の実現による「体質改善」の実行

「あらゆるステークホルダーから信頼される企業」をめざす

事業領域を拡大し、上下流をワンストップでマネジメント

既存の事業領域

企業運営
計画設計
製造調達
施工
リユース
大規模改修
運営・維持管理

競争優位性を発揮するための4つのカギ

エンジニアリング力
インフラ運営の実績・ノウハウ
LCCへの最小化と適切なリスク評価に基づくファイナンス力
地域ネットワーク

※LCC:ライフサイクルコスト

NEXT100

持続的な成長

安定かつ高収益体質

すべてのステークホルダーからの信頼

世界中の社会課題の解決

経営目標数値

基礎構築フェーズ

- ・グローバル化追求
- ・新事業領域への体制構築
- ・DX/シェアード化推進
- ・M&Aの推進

成長フェーズ

- ・国内外におけるコンセッションの拡大
- ・アベイラビリティ・ペイメント案件の拡大
- ・DX/シェアード化による生産性向上
- ・M&Aのさらなる推進

2030年度目標

営業利益[※]
1,000億円以上

純利益
700億円以上

ROE(自己資本利益率)
12%以上

※インフラ運営の持分法利益、売却益も含むのれんは加味せず
※FY:Fiscal Yearの略、会計年度を示す
※インフロニア・ホールディングスの経営目標数値

気候変動への取り組み目標

パリ協定の実現に向けたCO₂排出削減目標を、2.0℃から1.5℃へ

2050年実質ゼロ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

社会にサステナブルな豊かさを提供し、SDGsの達成に貢献します